

日本子ども安全学会第9回大会

子ども安全の到達点—2012年を起点とした10年を振り返る

保育・学校事故と安全—これまでの10年とこれから—

2012年7月20日～現在—当事者遺族の立場から

LOVE &
SAFETY

一般社団法人吉川慎之介記念基金
代表理事 吉川優子

平成24年（2012年）5～9歳・・・102人のうち一人は慎之介

厚生労働省 人口動態統計—不慮の事故：自殺

年／年齢	0	1～4	5～9	10～14		15～19		死亡数合計	
				(自殺)	(自殺)	事故	自殺		
H24	93	123	102	94	75	340	509	752	584
H25	89	109	106	66	91	335	454	705	545
H26	79	112	102	86	100	312	433	691	533
H27	79	108	87	74	88	289	446	637	534
H28	73	84	68	66	70	305	429	596	499
H29	81	69	61	50	99	234	458	495	557
H30	65	81	75	64	99	240	503	525	602
R1	77	72	57	52	90	205	562	463	652
R2	58	57	49	53	122	230	639	447	761
R3	60	50	45	52	128	161	632	368	760

10年間で「不慮の事故」 5679人 「自殺」 6027人 (人)

一人一人の命を大切にする社会へ

2012.7.20

事故発生

2012.7.24

事故検証
加茂川

2012.7.31



事故後に始めた事故検証と再発防止に向けた活動

2012年～2015年—事故検証報告を提出するまで—

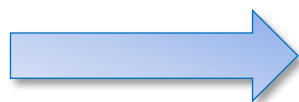
2012年 7月20日 事故発生 慎之介死亡【死因:溺水】

2012年 7月24日～ 事故現場(加茂川)で子どもたちと保護者とともに検証スタート

2013年 6月 学校安全管理と再発防止を考える会 発足

2013年 7月 西条市役所 青野勝前市長宛に事故調査委員会設置を要望書提出

2013年 9月 愛媛県庁 中村時広知事宛に事故調査委員会設置を要望書提出

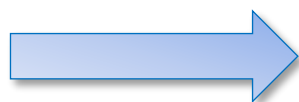


私立幼稚園に対し、指導監督する権限はないとの理由で却下文部科学省:「自治体の対応が全てです」という回答

2014年 5月

学校法人ロザリオ学園 西条聖マリア幼稚園管理下における園児溺死事件に関し学校安全管理上の問題を検証する第三者委員会を独自に発足(通称:慎ちゃん委員会)

2014年 7月 消費者庁 事故調査室へ事故調査 申出書提出



消費者庁の回答
川遊びは「消費サービス」に該当しないということで、現時点では調査を行わないと判断した

2014年 9月 一般社団法人吉川慎之介記念基金を設立し「日本子ども安全学会」を発足

2015年 2月 子ども安全管理士講座開講

2015年 8月 慎ちゃん委員会 調査報告書公開 愛媛県、西条市へ提出

<http://shinnosuke0720.net/1080/>

2016.5.30

刑事裁判判決 元園長 業務上過失致死罪 有罪

民事裁判判決 過失責任・法人使用者責任

2018.12.19

平成28年(2016年)5月30日 松山地方裁判所 刑事裁判判決文より

平成26年(わ)第81号 業務上過失致死傷(認定罪名:業務上過失致死)
http://www.courts.go.jp/app/files/hanrei_jp/977/085977_hanrei.pdf

◎園児の生命・身体を守る職務

◎ライフジャケット準備装着義務◎

園児らを引率して川遊びを予定していたのだから・・・

- 河川の危険性についての調査
- 上流域での降雨が水位などに影響するのは常識
- 上流域の天候を確認することは必須

遊泳場所が晴れていることで

安易に増水等の危険性がないと軽信した点は、
園児らを預かる幼稚園園長として**安易**な態度

様々な配慮が必要な保育に臨むことを義務付けられる
幼稚園教諭の
個々の能力や判断に即してみると、
園児の安全確保にとって、
必ずしも教諭個人に対する厳しい刑罰が
効果的であるとはいえず、
幼稚園における保育の実態を踏まえた
園外活動の種々のガイドライン等の作成や
事故事例に関する情報を
容易に利用できるような仕組み作り等といった、
個々の教諭の努力を超えた部分での安全対策がなければ
十分な安全確保とならない場合も起こり得るのであって、
そのような枠組みの中で
個々の教諭が十分な注意義務を果たすことが求められている

公的な課題

保育・学校事故検証とCDRへの期待-予防の理解

防げたはずの事故が繰り返し発生している
事故(傷害)は、誰にでもどこにでも起こり得るもの
—予防可能なものである—

子どもが生きる世界・環境

子どもの安全と事故(傷害)への対応や理解に差が生じている

—子どもの生活環境—

生れた地域・住んでいる地域

家庭、保育所・幼稚園・子ども園・学校(認可・認可外・公立・私立)、学童保育等・・・

—子どもに関わる人—

保護者、保育者・教育者等・・・すべての大人

—行政機関による様々な視点・対応—

地方公共団体・内閣府・法務省・総務省・厚労省・文科省・国交省・経産省等・・・

生れた国・日本

こども家庭庁

子どもの安全が分断されている状況の改善

子どもが幸せに成長できる社会へ—横断的な取組・対応の実現

事故の教訓をいかすために・・・

個人的な問題ではなく公的な問題として、

地域、社会全体で、事実と向き合い
誰もが参加できるかたちで
事故の再発防止、未然防止の取組を進めることができる
環境デザインが大切だと思います。

そして、ある日突然、
大切な命が失われた事実直面した時
深い悲しみや喪失と向き合えるように
一人一人に
グリーフ(悲嘆)の理解が深まることを願います。



さいじょうの10年一地域の回復と再生

愛媛県西条市
地域で事故の教訓をいかす取組
2012-2022



LOVE SAIJO 愛媛県西条市の取り組み

まちへの愛が未来をつくる

私立公立・保育園・幼稚園・小中学校合同連絡会 2012年～



アプリ
防災情報さいじょう
2017年～



LOVE SAIJO 愛媛県西条市の取り組み

まちへの愛が未来をつくる

2017年から海での手作りイカダ体験でライフジャケット着用が決定
西条市内すべての学校で川や海での教育活動の際には、
ライフジャケットを着用することになりました。

☆ 事前授業の様子

☆ イカダ体験の様子



LOVE SAIGO 愛媛県西条市の取り組み

まちへの愛が未来をつくる

2017



玉井敏久市長
2017年11月10日西条市役所にて

2018年6月1日 市内の小学校 ライフジャケット装着学習



2018



西条市内2か所ある消防署に
子ども用ライフジャケットの
レンタルステーションを設置

2019.07.20 水辺の活動の安全を学ぶー子ども安全セミナーー

水辺の活動と安全を学ぶ
子ども安全セミナー
 ー日本財団 海と日本プロジェクトー **water safety!**
<https://uminohi.jp/>
 後援:内閣府
 NPO法人 Safe Kids Japan NPO法人 Love&Safetyおむら
西条開催 2019年7月20日(土)13:00~16:00
 保育・教育施設の安全ー法律から考える
 科学的な事故(傷害)予防ー水辺の活動と安全についてー
 ライフジャケットの装着について
 レンタルステーションの報告
 子どもたちにライフジャケットを!
 子どもの命を守るためにできること
 一司会進行:小佐井良太先生ー
 愛媛大学教授 日本子ども安全学会理事長

寺町東子先生
 弁護士:東京さぼろ法律事務所
 北村光司先生
 国立研究開発法人産業技術総合研究所 主任研究員
 Safe Kids Japan理事
 西条市消防本部
 森岡和二先生
 子どもたちにライフジャケットを!代表

子どもたちにライフジャケットを!
 ライフジャケットの重要性

LOVE SAIIJO
 まちへの愛が未来をつくる
SAFE KIDS
 WORLDWIDE
 JAPAN

内閣府
 Cabinet Office

一般社団法人
吉川慎之介記念基金
 Shinnosuke Memorial Foundation

LOVE & SAFETY

日本財団
 海と日本
 PROJECT



2019.07.28

STONE HAMMER fes



Love&Safetyさいじょう
<https://www.facebook.com/LS.Saijo/>



子どもたちにライフジャケットを！
ライフジャケットを着けよう！

思いはただ1つ...子どもたちの命を守ること。

LOVE SAIJO

まちへの愛が未来をつくる

広報さいじょう

2021
7
Let's enjoy our life in Saijo!

楽しみと発見のある毎日を



特集

水辺での笑顔を守る
着けよう！必ずライフジャケ

LOVE SAIJO

子どもの安全

を学びませんか？ ～子ども安全セミナーを開催～

日時 7月17日（日）13時～16時30分

内容 さまざまな場面での子どもの安全について学べる
4名の講師による講演（1コマ20～40分）



「約20年間の河川等における水難事故データをもとにした、事故の傾向及び具体的対策に関する調査研究等」

菅原 一成 氏
（公益財団法人 河川財団
子どもの水辺サポートセンター主任研究員）



「ABC理論に基づく世界を変革するための児童参加型安全授業の実践」

大野 美喜子 氏
（国法研究開発法人 産業技術総合研究所
人工知能研究センター）



「みんなで作る学校安全」

金澤 良 氏
（学校法人 明徳学園高等学校
養護教諭・保健体育科教諭）



「加茂川の危険を伝えるために」

久保 一平 氏
（アウトドアショップ「CROSSPOINT」オーナー）

- ▶対象 保育・幼稚園・小学校などで子どもに関わる職員、一般の保護者・地域の方
- ▶場所 会場：西条市地域創生センター 3階大研修室（定員30名）
web：オンライン会議ツールZoom（定員50名）
- ▶申込 HP確認後FAXかメールでお申し込みください。
- ▶問合せ 西条市地域創生センター
TEL：0897-52-5156 FAX：0897-47-5156
メール：seisakukikaku@saijo-city.jp



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、体調不良の方の来場はご遠慮ください。会場参加の方は、消毒やマスクの着用をお願いします。



保育・幼稚園管理下での水辺の活動と安全について考える



2022/05/24

四條畷学園短期大学 保育学科22名



海と日本プロジェクトの一環で実施しました。

20220524

20220628-30

岐 阜

2022/06/28-30 子どもの水辺安全セミナー 海と日本プロジェクト2022@岐阜
岐阜聖徳学園大学～水辺の活動と安全～子どもの事故実例から考える～



岐阜聖徳学園大学の講義について(大学広報サイト)

<https://yawaragi.shotoku.ac.jp/posts/62e735bb1dcb3a7f21514c2e>



Love&Safetyさいじょう+crosspointの市民活動



海と山が近い加茂川は
流れが急で速い
全国でトップクラスの
危ない川です。
死七事故も多く
遊ぶには準備が
必需品です。

ライフジャケットの危険
もし着せられたら...
お世辞に
お世辞に
お世辞に

お世辞のむと
助けにいけない
気がつかない

流されたら
スリッパなど
おいかけなさい。

山と雨がある
急に水が来る
むりはいない。

おぼれているサイン
おぼれているひともみつけたら
1. 声を出さず
2. 声もかけず
3. 声もかけず
4. 声もかけず
5. 声もかけず
6. 声もかけず

おぼれているひともみつけたら。
1. おぼれているひともみつけたら。
2. おぼれているひともみつけたら。
3. おぼれているひともみつけたら。
4. おぼれているひともみつけたら。
5. おぼれているひともみつけたら。
6. おぼれているひともみつけたら。

自然の中で遊ぶことは楽しいことです。
しかし、竹がしりとり死んでしまえばいけません。
しっかりと知識をもとて安全に遊びましょう!

子どもだけで川へいけません!

drawing by IPPEI KUBO

加茂川 MAP

LOVE SAIJO かきかわまっす
水遊びにはライフジャケットを!!

おぼれているひともみつけたら。
1. おぼれているひともみつけたら。
2. おぼれているひともみつけたら。
3. おぼれているひともみつけたら。
4. おぼれているひともみつけたら。
5. おぼれているひともみつけたら。
6. おぼれているひともみつけたら。

ライフジャケットを正しくしよう
お世辞のむと
助けにいけない
気がつかない

おぼれているサイン
おぼれているひともみつけたら
1. 声を出さず
2. 声もかけず
3. 声もかけず
4. 声もかけず
5. 声もかけず
6. 声もかけず

自然の中で遊ぶことは楽しいことです。
しかし、竹がしりとり死んでしまえばいけません。
しっかりと知識をもとて安全に遊びましょう!

子どもだけで川へいけません!

drawing by IPPEI KUBO

Love&Safetyさいじょう 2019～



水辺の安全シンポジウム
海と日本プロジェクト2022



みんなで話そう！
西条水辺の安全・子どもの安全
～ひとりひとりの言葉をかたちに～



20220731

未来へ向かって・・・

community

LOVE & SAFETY



一般社団法人

吉川慎之介記念基金

Shinnosuke Memorial Foundation

日本子ども安全学会

2022.09.17